

2012年7月24日

【告知のご依頼 および 取材のご案内】

外務省・文部科学省後援申請中



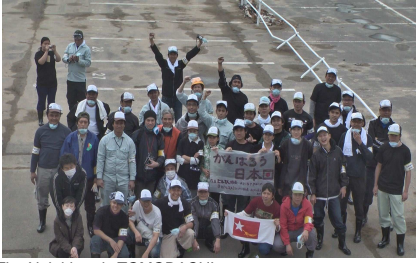
～ 対立、難民、いじめ...世の中の実情を描いた秀作映画 ～
10月に全国20ヶ所で無料上映決定
 ヒューマン・シネマ・フェスティバル 2012 supported by AEON

特定非営利活動法人 国連 UNHCR 協会は、10月13日（土）から28日（日）までの土・日曜日の6日間、「ヒューマン・シネマ・フェスティバル 2012 supported by AEON」を全国20ヶ所で開催します。同フェスティバルは、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の駐日事務所が2006年より毎年開催してきた「UNHCR 難民映画祭」の上映作品を中心とした秀作を、より多くの方にご覧いただけるよう、2011年より全国規模で開催されています。第2回となる今年も、さまざまな人間の生き様を描いた作品を、ワーナー・マイカル・シネマズとイオンシネマズのご協力を得て、無料でお届けいたします。

【「知る」ことは、私たちにできることを考える大きな一歩】

世界には過酷な環境で力強く生きる人々が存在します。苦しみながらも希望を捨てずに懸命に生きる彼らの姿は、家族や友人と過ごす時間がかけがえのないものだとして改めて教えてくれます。映画をご覧になり現状を知ることが、私たちにできることを考えるきっかけとなれば幸いです。

■作品概要

 <p>©Zentropa Entertainments16</p>	<p>『未来を生きる君たちへ』 監督:スザンヌ・ベア デンマーク＝スウェーデン/2010/118分/デンマーク語・スウェーデン語・英語</p> <p>愛と憎しみの間で揺れ動く父子の絆の物語</p> <p>アフリカのキャンプで働く医師アントン。貧しさが犯罪を生む環境を目の当たりにし、デンマークに残してきたひとり息子を想う。一方、息子は学校で執拗ないじめにあっていた。人の心の善悪を浮き彫りにし、決定的な危機を乗り越え、さらに強く結ばれていく絆を描いた感動作。2011年米国アカデミー賞®&ゴールデン・グローブ賞外国語映画賞W受賞。</p>
 <p>© 2010 Incendies inc. (a micro_scope inc. company) - TS Productions sarl. All rights reserved.</p>	<p>『灼熱の魂』 監督:ドゥニ・ヴィルヌーヴ カナダ/2010/131分/フランス語・アラビア語</p> <p>過酷な運命に翻弄された母の生き様を知った姉弟は...</p> <p>不自然なほど子どもと距離を置いていた母が亡くなり、取り残された双子の姉弟。母が彼らに託した手紙は、今まで存在さえ隠されていた姉弟の父と兄に宛てたものだった。彼らは母の故郷・中東にその手紙を届けようとするが、それは宗教・民族間の争いに巻き込まれた母が、生きることを決してあきらめなかった軌跡を追体験するものだった。2011年米国アカデミー賞®外国語映画賞ノミネート、カナダジニー賞8部門制覇。</p>
 <p>©The Neighbourly TOMODACHI</p>	<p>『すぐそばにいたTOMODACHI』 監督:セシリア亜美 北島 日本/2011/100分/日本語・ビルマ語/ドキュメンタリー</p> <p>被災地復興に手を差しのべた難民たちと被災者の心の交流</p> <p>2011年3月11日の東日本大震災を受け、被災者のために立ち上がったのは、95人もの日本で暮らすミャンマー難民だった。自分たちの生活もままならない中、それでも困っている人々を助けたいと願う彼らの姿をカメラは追っていく。第6回 UNHCR 難民映画祭(2011年)オープニング作品。</p>

特定非営利活動法人 国連 UNHCR 協会(国連難民高等弁務官事務所・日本委員会)について

UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)は1950年に設立された国連の難民支援機関です。紛争や迫害により故郷を追われた難民・避難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に対して働きかけています。1954年と1981年にノーベル平和賞を受賞。スイス・ジュネーブに本部を置き、120カ国以上で援助活動を行っています。この国連の難民援助活動を支えるため、広報・募金活動を行う公式支援窓口が、国連 UNHCR 協会です。

■日程・上映館・作品（各日各作品1回上映）

10月13日(土)・14日(日)		『未来を生きる 君たちへ』	『灼熱の魂』	『すぐそばにいた TOMODACHI』
群馬	イオンシネマ高崎	○	—	○
北海道	ワーナー・マイカル江別	○	○	—
宮城	ワーナー・マイカル名取	○	○	—
新潟	ワーナー・マイカル新潟南	○	○	—
愛知	ワーナー・マイカル大高	○	○	—
三重	ワーナー・マイカル鈴鹿	○	○	—
京都	ワーナー・マイカル高の原	○	○	—
10月20日(土)・21日(日)		『未来を生きる 君たちへ』	『灼熱の魂』	『すぐそばにいた TOMODACHI』
静岡	イオンシネマ富士宮	○	—	○
東京	ワーナー・マイカル板橋	○	○	—
大阪	ワーナー・マイカル茨木	○	○	—
香川	ワーナー・マイカル高松	○	○	—
広島	ワーナー・マイカル広島	○	○	—
福岡	ワーナー・マイカル福岡	○	○	—
熊本	ワーナー・マイカル熊本	○	○	—
10月27日(土)・28日(日)		『未来を生きる 君たちへ』	『灼熱の魂』	『すぐそばにいた TOMODACHI』
愛知	イオンシネマ岡崎	○	—	○
石川	イオンシネマ金沢	○	—	○
埼玉	ワーナー・マイカル浦和美園	○	○	—
神奈川	ワーナー・マイカル 港北ニュータウン	○	○	—
東京	ワーナー・マイカルむさし村山	○	○	—
兵庫	ワーナー・マイカル 三田ウツェイタウン	○	○	—

上映時間は9月上旬決定の予定です。映画祭期間中のイベントは決定次第、公式ウェブサイトにて情報を掲載します。

なお、上記以外に9月29日から10月8日まで東京にて、「第7回 UNHCR 難民映画祭」が開催されます。『未来を生きる君たちへ』も上映作品のひとつです。

■予約方法（10月1日10:00より予約開始）

- ①公式ウェブサイト <http://humancinemafestival.org> 「専用予約フォーム」からオンライン予約
- ②フリーダイヤルから予約 0120-540-732（月～土 10:00～18:00）
- ③各上映劇場窓口での申し込み（※イオンシネマズ4劇場は各開催日の3日前より受付開始）

*一部変更になる可能性があります

*上映時間などの詳細は、上記上映会場にお問い合わせください

主催：国連 UNHCR 協会、協賛：イオン1%クラブ、協力：ワーナー・マイカル・シネマズ、イオンシネマズ

イオン1%クラブはイオンの主要各社が拠出する税引前利益の1%を使って「環境保全」「国際的な文化・人材交流、人材育成」「地域の文化・社会の振興」を柱に様々な活動を支援しています。イオングループは、2010年にワーナー・マイカル・シネマズとイオンシネマズ全国8カ所で、「UNHCR 難民映画祭」の作品を上映しました。昨年より全国20ヶ所に上映館を拡大し、「ヒューマン・シネマ・フェスティバル supported by AEON」として取り組んでいます。

<p>取材に関するお問い合わせ先</p> <p>株式会社プラップジャパン</p> <p>担当：五味遡、山口</p> <p>Tel 03-4580-9104 Fax 03-4580-9130</p> <p>E-mail humancinemafestival_2012@ml.prap.co.jp</p>	<p>一般・国連 UNHCR 協会に関するお問い合わせ先</p> <p>特定非営利活動法人 国連 UNHCR 協会</p> <p>担当：長澤、中村、山崎</p> <p>Tel 03-3499-2451 Fax 03-3499-2273</p> <p>E-mail nagasawa@japanforunhcr.org</p> <p>ホームページ：www.japanforunhcr.org</p>
--	---